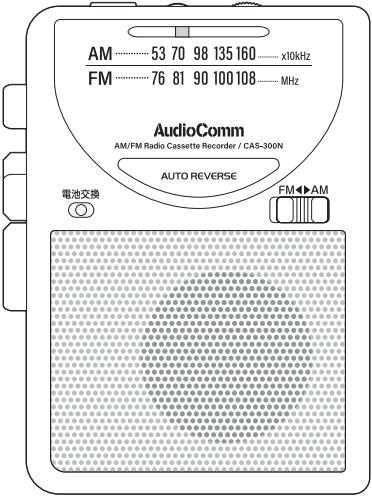


保証書付

取扱説明書

ラジオ付カセットレコーダー

型番:CAS-300N 品番:03-5567



このたびは、AudioComm®ラジオ付カセットレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を十分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

免責事項

- 下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。
- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
 - 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
 - 本製品のために費やした時間及び経費
 - 本製品を運用した結果もたらされた損害
 - 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
 - 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

著作権について

放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープ、コンパクトディスクなど）の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれから録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

イヤホン及び外付け録音マイクについては、消耗品につき保証の対象外で、故障や破損の場合は有料にて交換・修理となります。

ワイドFM(FM補完放送)について

ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において、難聴対策や災害対策のため、新たにFM放送用に割り当てられた90.1～94.9MHz周波数帯域を用いて、補完的にAM番組を放送することです。ワイドFMの開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

保証書

持込修理 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
 - (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
- (二)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
- (ホ)本書のご提示がない場合
- (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売店シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
- (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
- (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名		ラジオ付カセットレコーダー		★お買い上げ日： 年 月 日	
型 番		CAS-300N	品 番	03-5567	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お 客 様	ふりがな				
	★お名前				様
	★ご住所 〒 —				
電話 ()					

修理メモ

★住所 店名 電話	Ⓜ
販売店	

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

- ※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
- ※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
- ※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
https://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは お客様相談室 へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは 0120-963-006 048-992-2735
電話受付	平日 9：00～17：00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます
修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ	
電話受付	048-992-3970 平日 9：00～17：00 ※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

安全上のご注意

電気製品は正しく取り扱うことによって、安全にお使いいただけます。間違った使いかたは火災や感電による人身事故につながる場合があります。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。



警告

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音をするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止し、乾電池を取り外す。ACアダプター使用時は、ACアダプターをコンセントから抜く
- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

- 万一、内部に異物や水などが入った場合は、使用を中止する。ACアダプター使用時は、ACアダプターをコンセントから抜く
- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

分解、修理、改造しない

- 火災・感電の原因となります。

- ACアダプターは必ず本機の仕様に適合した製品を使う。自動車・船舶などの直流DC電源に接続したり、海外でACアダプターにより使用しない
- 破損や火傷、発煙、火災の原因となります。

- 雷が鳴り始めたら、安全のため本機及びACアダプターに触れない
- 感電のおそれがあります。

- 乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が悪くて飲み込むことがないようにする
- 万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。



注意

以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

- お子様がカセットドア内に手を入れないように注意する
- けがの原因となることがあります。

- 持ち運ぶときは、アンテナをたたむ
- 伸ばしたまま運ぶと、アンテナが引っ掛かったり、当たったりして、けがや破損の原因となることがあります。

- 音量を上げすぎない
- 周囲の迷惑になるだけでなく、長時間聴けて聴くと、聴力に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

- ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない
- 落下してけがや破損、故障の原因となることがあります。

- キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない
- 磁気の影響でカードが使えなくなるおそれがあります。

- 湿気やほこりの多い場所に置かない
- 火災・感電の原因となることがあります。

- 本機の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かない
- 発火・感電の原因となったり、けがや破損のおそれがあります。

- 本機を落としたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない
- 故障や破損の原因となることがあります。

- 浴室やシャワー室など、湿度の高いところや水はねのある場所では使用しない
- 火災や感電の危険があります。

- ACアダプターはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続する
- 手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。
- 本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。ACアダプター使用時に異常が生じたときには、すぐにACアダプターをコンセントから抜いてください。

- ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
- コードが破損して火災・感電の原因となります。

- 本機やACアダプターのコードを毛布や敷物などで覆わない
- 熱により本機やACアダプターが変形したり、気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。

- 本機の上に重いものをのせたり、ACアダプターのコードの上に本機をのせない
- 本機が破損・故障したり、火災・感電の原因となります。

- 本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるようなものを置かない
- 火災の原因となります。

- 車やオートバイ、自転車などの運転中は使用しない
- 交通事故の原因となります。
- 歩きながら使用するときも、他の交通の妨げにならないよう十分にご注意ください。

- 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない
- キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。

- 調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湯気が当たるような場所に置かない
- 火災・感電の原因となることがあります。

- 電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、パソコン、モニターなど)に近づけない
- 電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

- ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない
- コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずアダプター本体を持って抜いてください。

- 長期間本機を使わないときは、乾電池を取り外す。ACアダプターもコンセントから抜く
- 火災・液もれの原因となることがあります。

- ACアダプターとコンセントの接続部を定期的に清掃する
- ACアダプターとコンセントの間にほこりがたまると、自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的にほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。



警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない



注意

- ・⊕⊖の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使う
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

静電気に関するご注意

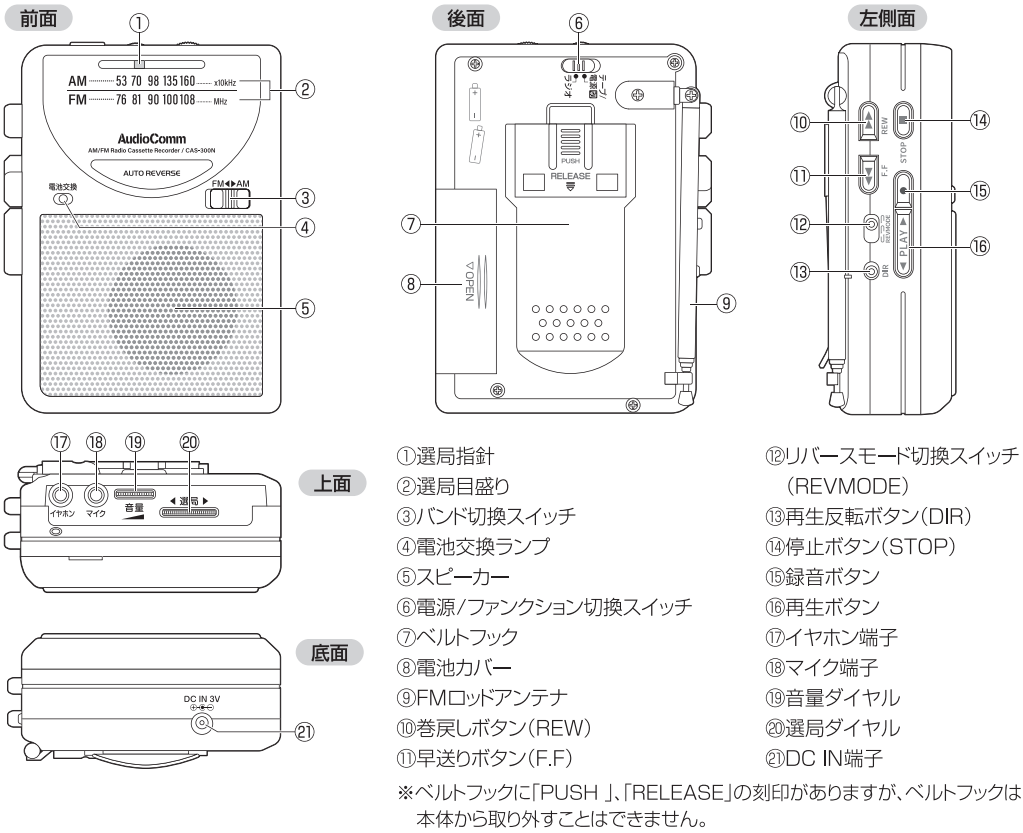
空気が乾燥する時期にイヤホンを使うと、耳にびりびりと痛みを感じることがありますが、これはイヤホンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。また、静電気が体に蓄積された状態でボタンを操作すると、動作・記録データなどに不具合が生じる場合があります。これらの現象は、静電気が発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより、影響を軽減することができます。

主な仕様

電源	DC3V(単3形乾電池×2本：別売)		
外部電源	DC3V 500mA ⊕⊖⊕ (ACアダプター 外径3.5mm 内径1.35mm：別売)		
実用最大出力	0.2W		
スピーカー	□径45mm(8Ω)×1		
受信周波数	AM：530～1605kHz FM：76～108MHz		
アンテナ	AM：フェライトバーアンテナ(内蔵) FM：ロッドアンテナ		
接続端子	φ3.5mmステレオミニジャック(音声はモノラル)、φ3.5mmマイクジャック、DC IN端子		
外付け録音マイク	コンデンサー型 全指向性 感度：－38dB		
乾電池での連続使用可能時間※1	スピーカー／カセットテープ：	約8時間	ラジオ：約18時間
	イヤホン／カセットテープ：	約12時間	ラジオ：約38時間
外形寸法	幅91×高さ122×奥行46mm		
質量	約255g(乾電池含まず)		
付属品	両耳イヤホン、外付け録音マイク、保証書付取扱説明書		

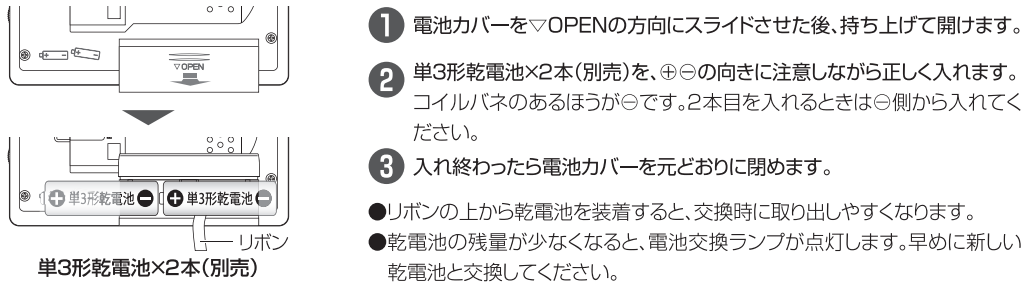
※1 アルカリ乾電池使用(新品、音量：中程度)の場合の目安です。使用状況などにより異なります。
※外観及び仕様は改善のため予告なく変更することがあります。 ※本書の図版は実際の製品と一部異なる場合があります。

各部の名称



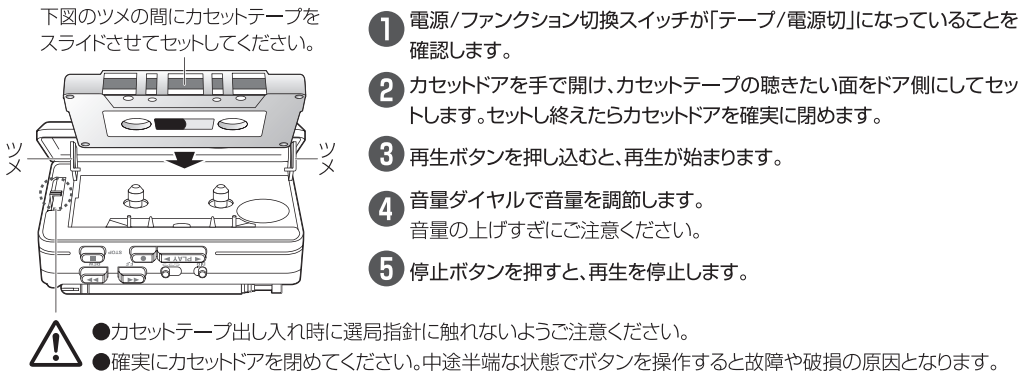
- ①選局指針
②選局目盛り
③バンド切換スイッチ
④電池交換ランプ
⑤スピーカー
⑥電源/ファンクション切換スイッチ
⑦ベルトフック
⑧電池カバー
⑨FMロッドアンテナ
⑩巻戻しボタン(REW)
⑪早送りボタン(F.F)
⑫リバースモード切換スイッチ(REV MODE)
⑬再生反転ボタン(DIR)
⑭停止ボタン(STOP)
⑮録音ボタン
⑯再生ボタン
⑰イヤホン端子
⑱マイク端子
⑲音量ダイヤル
⑳選局ダイヤル
㉑DC IN端子
- ※ベルトフックに「PUSH」、 「RELEASE」の刻印がありますが、ベルトフックは本体から取り外すことはできません。

乾電池の入れかた



- ①電池カバーを▽OPENの方向にスライドさせた後、持ち上げて開けます。
②単3形乾電池×2本(別売)を、⊕⊖の向きに注意しながら正しく入れます。コイルパネのあるほうが⊖です。2本目を入れるときは⊖側から入れてください。
③入れ終わったら電池カバーを元どおりに閉めます。
- リボンの上から乾電池を装着すると、交換時に取り出しやすくなります。
●乾電池の残量が少なくなると、電池交換ランプが点灯します。早めに新しい乾電池と交換してください。

カセットテープを聴く



- ①電源/ファンクション切換スイッチが「テープ/電源切」になっていることを確認します。
②カセットドアを手で開け、カセットテープの聴きたい面をドア側にしてセットします。セットし終えたらカセットドアを確実に閉めます。
③再生ボタンを押し込むと、再生が始まります。
④音量ダイヤルで音量を調節します。音量の上げすぎにご注意ください。
⑤停止ボタンを押すと、再生を停止します。

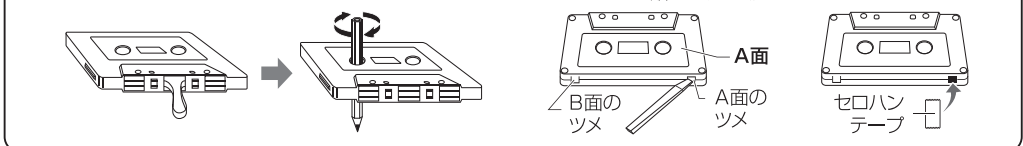
- カセットテープ出し入れ時に選局指針に触れないようご注意ください。
●確実にカセットドアを閉めてください。中途半端な状態でボタンを操作すると故障や破損の原因となります。

	再生開始		再生方向を反転
	早送り		両面を1回再生後に停止※
	巻戻し		両面を繰り返し再生
	再生、早送り、巻戻し、録音を停止		録音を開始

各ボタンの機能

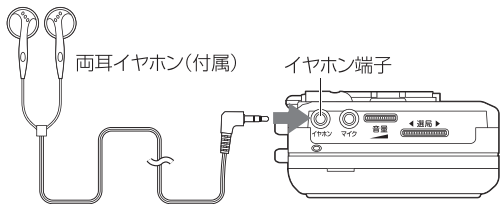
※反転再生時はテープの終わりで停止します。

- テープの巻きつきや切断、本機の故障や破損の原因となりますので、以下の点をお守りください。
- 本機で使用できるカセットテープ**
- C-60(再生/録音時間が60分)以内のノーマルテープ(TypeI)をお使いください。
- C-60以内のノーマルテープ(TypeI)
- ✕ ハイポジションテープ(TypeII)
メタルテープ(TypeIV)、エントレステープ
C-60を超えるノーマルテープ
- ノーマルテープの場合でも、C-60を超える長時間テープは通常のカセットテープに比べて非常に薄いため、トラブルの原因になりますので使わないでください。
●テープのたるみを確認め、たるんでいる場合は下図のように鉛筆などで必ず直してからご使用ください。
●大切なテープやオリジナルテープは必ずダビングし、ダビングしたテープを本機でお使いください。
●使い終わったら必ず本機からカセットテープを取り出して保管してください。
- 操作するときの注意点**
- 再生中に早送り/巻戻しをするときや、早送り/巻戻しから再生に戻るときなど、テープが動いているときは、必ず停止ボタンでテープ動作をいったん停止させてから、次の操作をしてください。
- 録音時の注意点**
- カセットテープの両端にあるリーダーテープ部分(透明部)は録音ができません。録音前にこの部分を送ってください。
●誤消去防止用のツメを折ってあるテープは録音ボタンの操作ができません。無理に押ししたりすると故障する場合がありますのでご注意ください。
- 大切な録音を消さないために**
- 保存しておきたいテープの場合、カセットのうしろ側にある誤消去防止用のツメを折っておくと、間違って大切な録音を消去せずに済みます。
●再び録音したい場合は、折ったツメの部分にセロハンテープなどを貼りつけてください。



イヤホンで聴くときは

- 付属の両耳イヤホンのプラグ(φ3.5mmステレオミニプラグ)をイヤホン端子に接続してください。
- 接続するとスピーカーからの音は出力されなくなります。
●出力音声はモノラルです。
●モノラルプラグのイヤホンはお使いになれません。



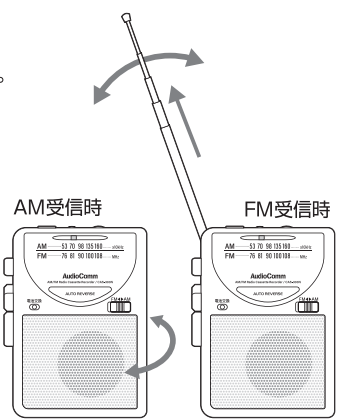
ラジオを聴く

- ①電源/ファンクション切換スイッチを「ラジオ」に合わせます。
②バンド切換スイッチをお聴きになりたいバンド(AMまたはFM)に合わせます。
③選局ダイヤルでお聴きになりたい放送局を受信します。
④音量ダイヤルで音量を調節します。音量の上げすぎにご注意ください。
⑤終了するときは電源/ファンクション切換スイッチを「テープ/電源切」に合わせます。

より良く受信するために

- AM受信時：アンテナが内蔵されています。最も良く聞こえるように本機の位置や向きを調節してください。
●FM受信時：FMロッドアンテナを伸ばし、アンテナの向きや角度を調節してください。

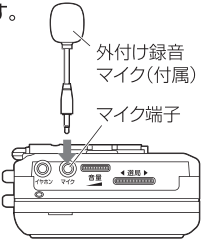
- テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。
●けがや破損のおそれがありますので、持ち運ぶときはFMロッドアンテナをたたんでください。



ラジオを録音する

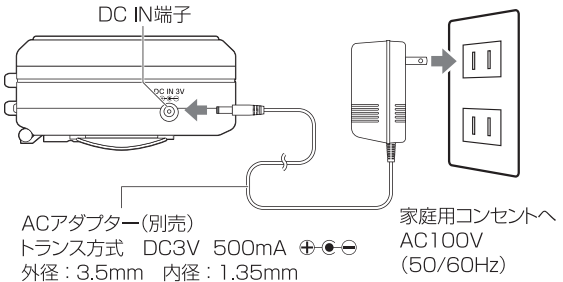
- ①カセットドアを手で開け、カセットテープの録音したい面をドア側にしてセットします。セットし終えたらカセットドアを閉めます。
②「ラジオを聴く」を参照して、録音したい放送局を受信します。
③録音ボタンを押すと、再生ボタンも押し込まれて録音が始まります。
④録音を終了するときは停止ボタンを押します。
⑤使い終わったら、電源/ファンクション切換スイッチを「テープ/電源切」に合わせます。

- 周囲の音を録音する際は、必ず付属の外付け録音マイクを装着してください。未装着の状態では録音できません。
●録音時はオートリバースは機能しません。片面ずつの録音となりますので、必要に応じてテープを取り出し、向きを変えて入れ直してください。
●録音レベルは一定ですので、音量ダイヤルを操作しても影響はありません。



家庭用電源で使うときは

- 本製品にはACアダプターは付属しておりません。市販のACアダプター(DC3V 500mA ⊕⦿⦿トランス方式 外径：3.5mm 内径：1.35mm)をお買い求めのうえご使用ください。
- ACアダプター(別売)を使って、本機のDC IN端子と家庭用コンセントを接続してください。
●ACアダプター使用時は乾電池を装着している場合でも、自動的に家庭用電源に切り換わります。
●本機を使用しないときはACアダプターを家庭用コンセントから抜いてください。



- 必ず本機の仕様に適したACアダプターをお使いください。適しないアダプターを使うと、機器の破損や火傷、発煙、火災の原因となる場合があります。
●トランス方式のACアダプターをお使いください。スイッチング方式のものを使うと、ラジオ受信時に雑音が入ることがあります。

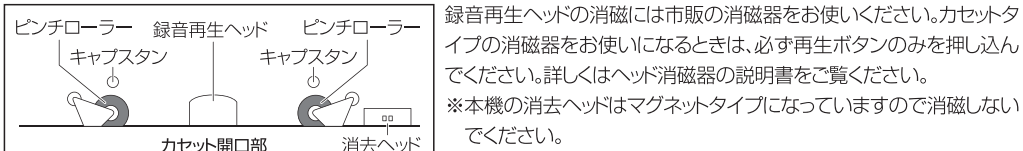
故障かなと思ったら

動作しない	●乾電池が正しく入っていますか。 ●乾電池が消耗していませんか。 ●ACアダプター使用時：ACアダプターがはずれていませんか(ゆるんでいませんか)。
音が出ない	●音量が最小になっていませんか。 ●イヤホン端子にイヤホンが差し込まれていませんか。
カセットドアが閉まらない	●カセットテープの向きは正しいですか。 ●カセットドア内にあるツメの間に正しく入れていますか。
テープが走行しない・不安定	●カセットテープがたるんでいませんか。 ●乾電池が消耗していませんか。
テープが巻きつく	●カセットドアがきちんと閉まっていますか。 ●カセットテープがたるんでいませんか。 ●ピンチローラーやキャプスタンが汚れていませんか。
録音ボタンが押せない	●カセットテープの誤消去防止用のツメが折れていませんか。 ●カセットドアがきちんと閉まっていますか。 ●カセットテープが入っていますか。
前の録音を完全に消去できない	●ハイポジション(TypeII)やメタルポジションテープ(タイプIV)を使っていませんか。 ●消去ヘッドが汚れていませんか。
雑音がひどい、音が震える	●ヘッドやピンチローラー、キャプスタンが汚れていませんか。
音飛びがする、高音が出ない	●カセットテープがたるんでいませんか。 ●乾電池が消耗していませんか。
録音ができない	●ヘッドが汚れていませんか。 ●誤消去防止用のツメが折れていませんか。
ラジオが受信できない	●音量が最小になっていませんか。 ●電波の弱い場所で使っていませんか。
雑音が入る	●ノイズを発する機器が近くにありませんか。 ●近くで携帯電話を使用していませんか。また、蛍光灯の近くでAMを受信すると、雑音が入ることがあります。どちらの場合も本機から離してお使いください。

お手入れのしかた

ヘッドやキャプスタン、ピンチローラーは長い間使っていると磁粉やゴミ、ほこりなどが付着して汚れてきます。汚れがひどくなると、音質が悪い、音が小さい、録音できない、前の音が消えないで残る、などの症状が出ます。また、テープが巻き込まれる原因にもなりますので、定期的にヘッド部を清掃してください。

- ヘッド部の清掃方法**
- カセットドアを開け、市販のクリーニングキットでヘッドやピンチローラー、キャプスタンなどの汚れを拭き取ります。次に使うときは、内部についたクリーナー液が十分に乾いてから、カセットテープを入れてください。



- キャビネットのお手入れ**
- キャビネットやボタンなどが汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後、から拭きしてください。
●シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはがれることがあります。